

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第5週 (1/27-2/2) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	5週	4週	3週	2週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	1/27-2/2	1/20-1/26	1/13-1/19	1/6-1/12	1/20-1/26
			5週	4週	3週	2週	4週
小児科	RSウイルス感染症		2 0.11	2 0.11	1 0.06	4 0.22	30 0.22
	咽頭結膜熱		3 0.17	4 0.22	3 0.17	7 0.39	25 0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	63 3.50	73 4.06	39 2.17	48 2.67	661 4.93
	感染性胃腸炎		138 7.67	118 6.56	128 7.11	135 7.50	1,008 7.52
	水痘		3 0.17	4 0.22	2 0.11	9 0.50	60 0.45
	手足口病		1 0.06	3 0.17	2 0.11	1 0.06	25 0.19
	伝染性紅斑		3 0.17	5 0.28	4 0.22	5 0.28	37 0.28
	突発性発しん		5 0.28	8 0.44	4 0.22	9 0.50	28 0.21
	ヘルパンギーナ		1 0.06	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
	流行性耳下腺炎		3 0.17	3 0.17	0 0.00	1 0.06	10 0.07
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓★	421 15.04	468 16.71	456 16.29	549 19.61	4,181 19.54
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		1 0.20	3 0.60	5 1.00	2 0.40	20 0.57
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	病原体等の検出	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	女性	70歳代	細菌の分離・同定、 薬剤耐性の確認 及び起因菌の判定
結核	男性	70歳代	病原体等の検出		女性	70歳代	
結核	男性	70歳代	病原体遺伝子の検出等	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	男性	70歳代	病原体の分離・同定
結核	女性	10歳未満	臨床診断				
結核	女性	90歳代	病理学的特徴的所見	-	-	-	-

\*第5週は、結核5件(18)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(1)の発生届があった。

※ ( )内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第5週のコメント

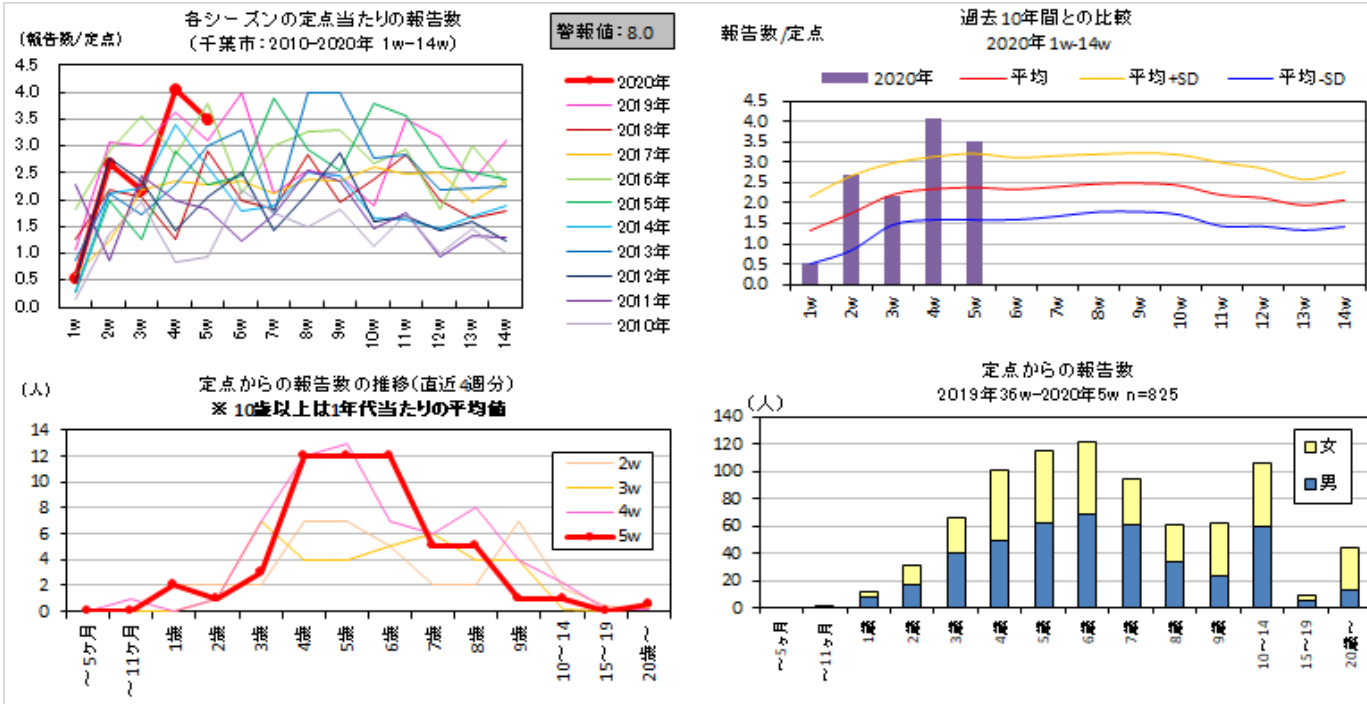
<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より減少し3.50となったが、過去10年の同時期と比べると多い。

<インフルエンザ> 前週より減少し15.04となった。流行発生注意報基準値を上回ったままだが、過去10年の同期と比べるととても少ない。

■ トピック ■

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの第4週の定点当たりの報告数は3.18となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では石川県、新潟県、富山県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は4.93で、全国レベルと比べるととても多くなっています。千葉市の第5週は前週より減少し3.50となりましたが、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(6.50/定点)で最多で、同区の4歳~6歳及び8歳で多く報告がありました。今シーズンである2019年第36週から2020年第5週までの累積報告数は825件で、性別では男性が53.6%(442名)、女性が46.4%(383名)となっており、年齢階級別では6歳(14.8%:122名)、5歳(13.9%:115名)、10歳代前半(12.8%:106名)の順で多くなっています。



<インフルエンザ>

全国レベルの第4週の定点当たりの報告数は18.00となり、流行発生注意報基準値(10.0/定点)を上回ったままですが、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では高知県、宮崎県、長崎県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は19.54で、ほぼ全国レベルと同等となっています。千葉市の第5週は前週より減少し15.04となり、流行発生注意報基準値を上回ったままですが、過去10年の同時期と比べるととても少なくなっています。区別の発生状況は、若葉区(24.25/定点)で流行発生警報注意報基準値(10.0/定点)を上回り最多で、同区の10歳代前半で最も多く、10歳未満では6歳で最も多くの報告がありました。今シーズンである2019年第36週から2020年第5週までの累積報告数は4036件で、性別では男性が51.4%(2075名)、女性が48.6%(1961名)となっており、年齢階級別では7歳(7.4%:299名)、8歳(6.5%:261名)、6歳(6.1%:245名)の順で多く、20歳未満が全体の70.9%(2862名)、10歳未満が全体の49.7%(2004名)となっています。

